

四万十町有機農業推進協議会（高知県）

生産技術力の強化を核とした有機生姜のブランド化

①取り組みの体制

四万十町との連携・協力のもと有機生姜のブランド化を図り、有機農業の普及・推進

②取り組みの主な内容

- 生産技術力の強化
安心安全で美味しい生姜を消費者に届けるための、適切な肥培管理技術、種生姜の保存技術、連作を可能にする土づくりと雑草防除技術の実証を行う。
- 販売体制の構築
新たな流通の開拓及び四万十町産有機生姜のブランド化を図る。
- 新規就農者の受け入れ及び支援体制の構築
有機農業の理念や技術についての講習会を開催する。
- 行政・関係機関等との連携のもと、有機農業の普及・推進
四万十町との連携・協力のもと高品質有機生姜のブランド化を図り、有機農業の普及・推進を行う。

③ 農業生産の概要

- 生産物の内訳
米 973ha(うち有機栽培0, 5ha)
野菜 162ha(うち有機栽培9, 6ha)
(有機生姜、ナバナ、エンドウ、ニンニク、サラダゴボウ)
その他 30ha(うち有機栽培0ha)
- 協議会の農業者数
現在 12人 目標(27年度) 15人
- 協議会の売上
現在 39,600千円 目標(27年度) 47,500円
- 農産物の主な売り先
有機農産物取り扱い専門業者、ほか

④写真、絵、グラフ等プレゼン資料



出荷調整作業



安心安全な有機生姜をお届けします。

⑤協議会代表の一言

有機生姜のブランド化の為、消費者や流通事業者への周知に努め、販売額の向上に取り組む事とし、さらに栽培技術の向上に努め、有機生姜の産地化に向けた取り組みを推進していきます。

⑥連絡先：787-0020 高知県四万十市入田3313-2
TEL 0880(37)6174 FAX 0880(37)6175
E-mail: koaa2@cosmos.ocn.ne.jp 担当者名：宇和川

赤村有機農業推進協議会（福岡県）

地産地消型の有機農業を推進

①取り組みの体制

赤村・商工会・JA・地域農業改良普及センター・赤村特産物センターとの連携・協力のもとで赤村地域ブランド品づくりを企画し、地産地消型の有機農業等を推進。

②取り組みの主な内容

- 有機農業の実践講座・基調講演・推進講演・土壌診断の実施等により技術と知識の習得
- 水稲 紙マルチ・アイガモ・有機肥料の活用・油粕・醗酵鶏糞の利用
- 都市圏等の生協・赤村特産物センターによる有機農産物の販売促進
- 福岡市・北九州市の子供や家族との田んぼ等の生き物調査などによる消費者との交流活動の実施

③生産概要

○ 農業生産の概要

米 280ha（うち有機栽培 紙マルチ栽培 4.5a）
 アイガモ栽培 2.0a ・ 自然栽培ガンズメ使用）
 野菜 31ha（うち有機栽培 セロリー 1.0a ニラ 0.2a
 小松菜・ほうれん草・春菊・レタス・
 サニーレタス 2.5a
 里芋 1.0a

- 協議会の農業者数 現在 25人 目標 50人
- 協議会の売り上げ 現在 1,227万円 目標 2,100万円
- 農産物の主な売り先 赤村特産物センター・大手スーパー生協

④赤村における有機農業の取組



⑤協議会代表の一言

【赤村の有機農業に対するスローガン】

- 国や各機関と連携を図り、有機農業の技術の確立を目指します。
- 有機農業に取り組む人達とのネットワークを構築します。
- 有機農業を目指す人達に情報や技術が提供でき、研修ができる有機農業支援センターをつくります。
- 有機農業を通じて、赤村の地域興し、地域づくりの一助とします。
- 有機農業を軸として、若者が農業に未来を描けるビジネスモデルを展開します。

⑥連絡先 〒824-0432

福岡県田川郡赤村大字内田1188
 赤村役場 産業建設課産業振興係
 Tel.0947-62-3000 FAX 0947-62-3007
 aka-s.sansin@mb.fcom.ne.jp
 課長補佐 園田 茂

南島原市有機農業推進協議会（長崎県）

長崎県内で唯一の協議会

①取り組みの体制

協議会を構成する7生産団体及び1生活協同組合と長崎県並びに南島原市との連携・協力のもと、有機農業の普及・拡大を図っている

②取り組みの主な内容

- ・有機農業実践講座、有機JAS制度学習会の開催
⇒ 有機農業者の知識の向上、新規取組者の育成
- ・実証圃場の設置、土壌分析の実施
⇒ 生産技術の向上・確立
- ・消費者との交流会の開催、有機農産物の出展
⇒ 消費者等に対する有機農業への理解促進と普及啓発
- ・協議会のパンフレットの作成・配布
⇒ 一般市民等に対する協議会活動のPR

③生産概要

○ 南島原市の農業生産物の内訳

- ・有機農産物栽培面積 7,772a

米、麦、大豆等穀類	うち有機JAS認証栽培	1,782a
野菜(じゃがいも、たまねぎ他)	うち有機JAS認証栽培	5,901a
果樹(みかん)	うち有機JAS認証栽培	89a
- ・有機農産物収穫量 1,999t

有機JAS認証農産物収穫量	1,093t
---------------	--------

○ 協議会の構成員

現在 生産団体:7団体(220名)
うち有機JAS認定者数 51名

○ 有機農産物の産出額

300,541千円(推定)

○ 有機農産物の主な取引先

生協など

④ 活動風景



⑤協議会代表の一言

本協議会は、自然環境と調和し、安全で安心な食べ物を生産する有機農業を推進し、各関係団体・機関が連携・協力し、地域農業の活性化に寄与することを目的として、平成20年度に設立された、長崎県内でも唯一の有機農業推進のための協議会です

農業が基幹産業である本市において有機農業がその一角を担えるよう普及・推進に努め、名実ともに地域農業のモデルとなることを目指したいと思っております。

⑥連絡先: ☎859-2202

長崎県南島原市有家町山川58番地
TEL:050-3381-5060 FAX:0957-82-0217
担当:農林課 近藤

「給食畑の野菜」有機農業推進協議会（大分県）

「うすき夢堆肥」で目指すほんまもん

①取り組みの体制

臼杵市との連携・協力のもとで学校給食・直販所を介した地産地消型の有機農業を推進

②生産概要

○農業生産物の内容

- ・給食センター使用有機野菜1,800kg（全体75 t）
- ・「給食畑の野菜」有機述べ栽培面積400 a

○農業者数

- ・「給食畑の野菜」生産者50戸の内
有機農業取組農家数12戸（平成24年度目標20戸）

○「給食畑の野菜」有機農家の売上

- ・有機野菜取扱額600万円（平成24年度目標800万）

○農産物の主な取引先

- ・地元直販所、市給食センター、市内料飲店等

③取り組みの主な内容

- 学校給食への有機農産物の供給
 - ・給食センターにおける使用野菜の有機野菜への利用促進
- 直販所における有機農産物の販売促進
 - ・市民の直販所利用率向上
 - ・有機農業・有機農産物の利用促進
- 生産者と消費者との交流イベント開催
 - ・収穫体験、料理教室、生産者の学校訪問
 - ・旬食フェスタ、食と農をつなぐフォーラムなどの開催
- 有機栽培農家の推進
 - ・「うすき夢堆肥」による本来の土づくりの推進
 - ・有機農業をはじめとする環境保全型農業の推進
 - ・有機栽培農家の増加
 - ・直販所出荷者の有機栽培への取組推進

⑤協議会代表の一言

臼杵市では「うすき夢堆肥」による“本来の土づくり”に力を入れてほんまもんの農産物の生産の拡大を目指しています。

美味しく、栄養のある有機野菜を臼杵市民に食べてもらうため、そして臼杵市の自然環境のことを考えた有機農業を続けていくためにがんばります！

④取組みの様子



有機にんじん収穫体験



⑥連絡先：臼杵市農林振興課有機農業推進室

〒875-0201

臼杵市野津町大字野津市326-1

TEL：0974-32-2220 担当：佐藤

人吉市有機農業推進協議会（熊本県）

「医食同源ひとよし米」で健康・笑顔のまちづくり

①取り組みの体制

協議会を構成する人吉市地産地消推進協議会（給食センター納入農家団体、JA、教育委員会、市など）、ひとよしアイガモ農法研究会、人吉有機の会の連携の下、米を中心とした有機農業の普及・拡大を図っている。

②取り組みの主な内容

- 有機農業参入希望者に対する指導・助言
高品質、多収穫生産技術習得のための各種研修会の開催
- 有機農業技術確立のための実証ほの設置
ミネラル資材等を活用した有機農業技術（ナサラ農法）の実証
- 有機農産物の流通・販売活動の促進
市内消費者との提携による流通促進
地産他商による販路拡大、ホームページの開設

③農業生産の概要

○農産物の内訳

米 656ha うち有機農業による米3.6ha(内有機JAS 2.85ha)

野菜145ha うち 同上 トウガラシ2.3ha 馬鈴薯0.3ha

○協議会の農業者数

現在の有機農業者数 49戸 目標(25年度) 60戸

○協議会の売上

現在の販売額 11,914千円 目標(25年度) 16,800千円

○農産物の主な売り先

消費者オーナー会員、直販店、市給食センターほか

④医食同源ひとよし米生産部会



⑤協議会代表の一言

本市では、市民みんなが健康で笑顔あふれるまちづくり「元気、長生き、ぽっくり」GNP運動を展開しています。その一環として、当協議会では、豊富な気象条件に恵まれた本市の安全・安心でおいしい有機農産物の生産・販売を推進します。

また、地産地消を基本にしつつ、地産他商にも積極的に取りみながら農業者の所得向上を目指します。

⑥連絡先

熊本県人吉市麓町16番地 人吉市役所農業振興課
Tel 0966-22-2111 fax0966-22-7047
担当：荒毛・豊永

宇城市有機農業推進協議会（熊本県）

熊本県内を始め全国各地に供給

①取り組みの体制

宇城市、宇城市有機農業研究会、宇城地域振興局農業普及・振興課、JA熊本宇城の4者により協議会を構成。

生産技術力を強化するとともに、一般消費者に対し、有機農業の理解促進のための情報発信、有機農産物の消費拡大を推進。

②取り組みの主な内容

○販売企画力の強化

有機フェスタへの参加、消費者との交流、販売促進への参加、有機農産物フェアの開催、HP、パンフレット等による情報発信

○生産技術力の強化

土壌分析、実証ほの設置、省力化技術の研究

○人材育成力の強化

先進地視察や有機JAS講習会の開催等の開催

③生産概要

○農業生産物の内訳

米 9.6ha(有機JAS又は有機JASと同等の取り組み)

野菜8.4ha(トマト、玉ねぎ、にんにく、里芋、生姜など)

果樹 4.8ha(ポンカン、タンカン、栗など)

○協議会の農業者数

現在19戸、目標(平成27年度)30戸

○農業産出額

現在56百万円、目標(平成27年度)80百万円

○農産物の主な取引先

熊本県始め全国各地の生協、有機農産物会員制宅配団体、JA直営店舗、学校給食等

④有機農業への理解促進活動(親子田植え交流会)



⑤協議会代表の一言

有機農業への新規参入をめざす動きは少しずつ見えてきています。これからの課題は、消費者の理解者、支持者をどのように増やしていくか、ということだと考えます。

地域の大切な生活環境を健全に守り、次世代にバトンタッチしていくためにも有機農業を支えていくことが重要かつ、緊急のテーマであることを更に広く地域の生活者の皆さんに訴えていきたい。

⑥連絡先:宇城市有機農業推進協議会

担当:森田

〒869-0616 熊本県宇城市小川町北海東1396-1

Tel 0964-43-0234 Fax 43-3566

Mail

綾町有機農業推進会議（宮崎県）

『自然生態系農業のまち』

①取り組みの体制

綾町憲章「自然生態系を生かし、育てる町にしよう」に基づいた農産物の安全性と自然環境に調和した農業を推進しています。町、農協などで組織する「有機農業推進会議」で事業計画が決定されます。有機農業開発センター、有機農業実践振興会で生産技術の指導及び有機農業の普及推進を行い、有機農業実践振興支部、農協の各生産組織で有機農業の振興を行っています。

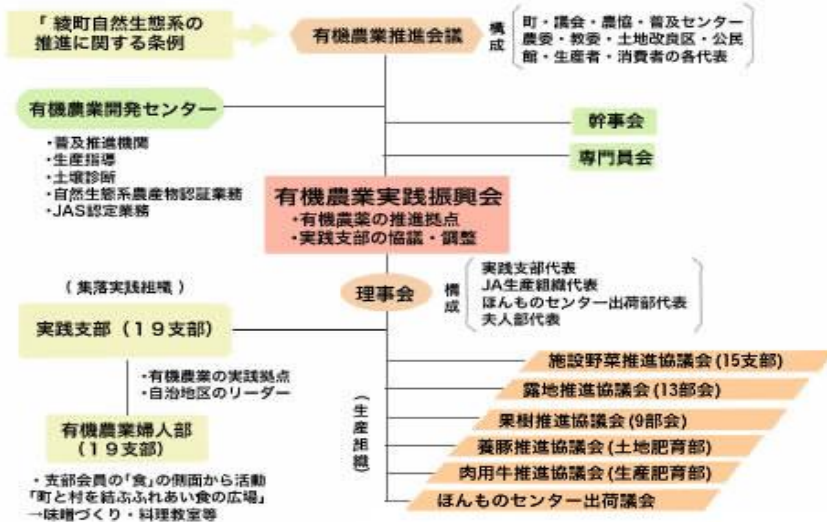
②取り組みの主な内容

- ・消費者の信頼に応える有機農産物の生産拡大
- ・土壌診断に基づく適切な施肥による栽培技術の向上
- ・農業経営安定のための生産体制の確立と新品種の導入
- ・都市との共生交流による流通・販売の促進
- ・新規就農者の育成と農業経営事業の確立
- ・有機農産物の地場消費拡大
- ・農畜産物総合価格安定制度の運用

③生産概要

- 農業生産物の内訳
 - 米 175.0ha(うち有機農産物 0.8ha)
 - 野菜 87.5ha(うち有機農産物 11.8ha)
- 自然生態系農業(有機農業を含む)に取組む農業者数
現在387人
- 自然生態系農産物の販売額
野菜 305百万円
- 農産物の主な取引先
JA綾、有機農産物専門取扱業者、公共施設、直売所

④自然生態系農業推進体制の組織図



⑤協議会代表の一言

近年、農業を取り巻く環境は、輸入生産コストの上昇、農業従事者の高齢化に伴う担い手の減少等厳しい状況にあります。

このような中、綾町では、全国に先駆けて自然生態系農業の推進に関する条例を制定し、農業の使命である食の安全を掲げた町づくりを推進してきました。

今後、生産者、農協、行政が一体となり、消費者との信頼のもと、安心できる農畜産物の生産・流通を通じて、都市と農村との交流・共生を一層深めながら、更なる自然生態系農業の発展に努めてまいります。

- ⑥連絡先：綾町有機農業開発センター 藤島裕輔
〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣1128番地
TEL 0985-77-0100 FAX 0985-77-0962
E-mail y.fujishima@town.aya.lg.jp

かごしま有機農業推進協議会（鹿児島県）

次世代にバトンタッチ・オーガニックフェスタ

①取り組みの体制

鹿児島市、南さつま市、始良市、始良有機部会、NPO法人鹿児島県有機農業協会、(株)MOA商事、コープかごしま、(有)かごしま有機生産組合の8者により協議会を構成。

一般消費者に対し、有機農業の理解促進のための情報発信、有機農産物の消費拡大を推進。

②取り組みの主な内容

- 販売企画力の強化
オーガニックフェスタの開催、販売促進、商談会等への参加
- 生産技術力の強化
各種研究会・学会等への参加、研究会、研修会等への参加
- 人材育成力の強化
先進地視察や交流会等への参加、新規就農者向け講習会、公開講座等の開催

③生産概要

- 有機農業生産物の内訳（平成22年末）
米 3.1ha（有機JAS又は有機JASと同等の取り組み）
野菜28.4ha（玉ねぎ、にんにく、菜花、らっきょうなど）
果樹 4.7ha（ポンカン、タンカン、クワなど）
- 地域内の有機農業者数（平成22年末）
37戸（有機JAS認証29戸）
- 有機農産物産出額（平成22年）
約1億円
- 農産物の主な取引先
有機農産物会員制宅配団体、鹿児島始め全国各地の生協、直営店舗、スーパー、小売店、学校給食等

④有機農業への理解促進活動（オーガニックフェスタ）



⑤協議会代表の一言

有機農業への新規参入をめざす動きは少しずつ見えてきています。これからの課題は、消費者の理解者、支持者をどのように増やしていくか、ということだと考えます。

地域の大切な生活環境を健全に守り、次世代にバトンタッチしていくためにも有機農業を支えていくことが重要かつ、緊急のテーマであることを更に広く地域の生活者の皆さんに訴えていきたい。

- ⑥連絡先：鹿児島有機農業技術センター 担当：森永
〒899-5412 鹿児島県始良市三拾町1397-14
Tel&Fax 0995-73-3511
Mail k-ofsc@swan.ocn.ne.jp